

令和3年8月の大雨による被害状況等について（第1報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況（8/13 14:00 時点）

- 前線が、西日本から東日本に停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、西日本を中心に大気の状態が非常に不安定となっている。前線は、向こう1週間程度は本州付近に停滞する見込みで、前線の活動が活発な状態が続く。
- 本日13日8時45分に広島県に発表した大雨特別警報は、13時00分に警報に切り替えた。九州北部地方では11日からの降水量が700ミリを超えたところがあり、記録的な大雨となっている。引き続き、明日14日にかけて西日本を中心に非常に激しい雨が断続的に降り、西日本から北日本の広い範囲で大雨となる所がある見込み。15日以降も雨が降りつづくため、既に記録的な大雨となっている九州では更に大雨が続き、普段雨の少ない山陰から北陸にかけての日本海側や瀬戸内海に面した地域でも大雨となる見込み。14日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、九州北部地方300ミリ、九州南部、四国地方、近畿地方、東海地方、関東甲信地方250ミリ、中国地方200ミリ、北陸地方180ミリ、東北地方120ミリ。その後、15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、九州南部、九州北部地方、四国地方、近畿地方、東海地方、関東甲信地方200から300ミリ、中国地方、北陸地方100から200ミリ、東北地方50から100ミリの見込み。
- 向こう1週間程度、前線は本州付近に停滞するため、西日本から北日本の広い範囲で雨量がさらに増えるおそれ。
- これまでの大雨により、地盤の緩んでいるところがある。また、中国地方では、これまでの大雨により増水し氾濫が発生した河川がある。土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に厳重に警戒。竜巻などの激しい突風や落雷に注意。

2 体制等

- 非常体制：本省、中国地整、国総研、国土地理院、気象庁
- 警戒体制：北陸地整、中部地整、中国運輸、九州地整、九州運輸
- 注意体制：東北地整、東北運輸、北陸信越運輸、中部運輸、近畿地整、近畿運輸、神戸運輸、四国地整、四国運輸

3 一般被害情報等（消防庁 8/13 13:00 時点）

- 死者 1人（長崎1）
- 重傷 1人（長崎1）

4 被害情報等

(1) 河川（8/13 15:00 時点）

- 合計7水系9河川で氾濫
（中国地方）
 - ・江の川水系江の川（国管理区間）の氾濫により道路、田畑等が浸水。（詳細確認中）
 - ・東広島市を流れる広島県管理の沼田川水系入野川では、7月9日に堤防が決壊した箇所付近で再度決壊。既に応急工事完了済。このほか安芸高田市を流れる江の川水系多治比川で堤防が決壊したほか、2水系3河川で氾濫。（詳細確認中）
- （九州地方）
 - ・南関町を流れる熊本県管理の関川水系関川や、日田市を流れる大分県管理の筑後川水系玖珠川など4水系4河川で氾濫。（詳細確認中）

(2) ダム（8/13 14:00 時点）

- 洪水調節を実施したダム 103ダム
 - ・うち事前放流を実施したダム 49ダム
 - ・うち事前放流を実施していないダム 54ダム

(3) 砂防

■土砂災害 (8/13 11:30 時点)

○3件 (佐賀1、長崎1、鹿児島1)

※長崎県の土砂災害について被害の詳細は確認中。

- ・ 人家被害 一部損壊 (佐賀1)

■土砂災害警戒情報 (8/13 12:00 時点)

○11県 126市町村に発表

(新潟、富山、石川、広島、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島)

※11県 122市町村で継続中

(新潟、富山、石川、広島、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島)

(4) 道路 (8/13 14:00 時点)

○高速道路 11路線59区間

- ・ 被災による通行止め：なし

- ・ 雨量基準超過による通行止め：

E34長崎道 (鳥栖JCT～長崎IC)【14区間】

E34大分道 (日田IC～湯布院IC、鳥栖JCT～筑後小郡IC)【5区間】

E3九州道 (筑紫野IC～益城熊本空港IC)【9区間】

E2A中国道 (新見IC～戸河内IC)【9区間】

E74浜田道 (千代田JCT～大朝IC)【1区間】

E74広島道 (広島北JCT～広島北IC)【1区間】

E10東九州道 (椎田南IC～豊前IC)【1区間】

E35西九州道 (武雄JCT～佐世保三川内IC)【3区間】

E54松江道 (高野IC～雲南吉田IC)【1区間】

E54尾道道 (世羅IC～吉舎IC)【2区間】

E74東広島呉道 (黒瀬IC～上三永IC)【4区間】

○有料道路 3路線3区間

- ・ 被災による通行止め：なし

- ・ 雨量基準超過による通行止め：

長崎バイパス【1区間】

ながさき出島道路【1区間】

川平有料道路【1区間】

○直轄国道

- ・ 被災による通行止め：2路線2区間

国道210号 (大分県)：土砂流入による全面通行止め

国道54号 (広島県)：冠水による全面通行止め

○補助国道

- ・ 被災による通行止め：5路線6区間

国道261号 (広島県)：路面冠水による全面通行止め

国道261号 (広島県)：道路崩壊による全面通行止め

国道314号 (島根県)：土砂流出による全面通行止め

国道375号 (広島県)：路面冠水による全面通行止め

国道387号 (大分県)：法面崩壊による全面通行止め

国道425号 (奈良県)：法面崩落による全面通行止め

○都道府県道等 被害10県 48区間 (うち孤立1区間)

富山県 3区間 (土砂崩れ1、路面冠水2)

石川県 2区間 (土砂崩れ1、路肩崩壊1)

※宝達志水町孤立家屋あり(1世帯2人、住民は孤立区域外へ避難済)

鳥取県 1区間 (倒木1)

島根県 6区間 (法面崩壊2、路面冠水4)

広島県 11区間 (土砂崩れ8、土砂流出1、路面冠水2)

福岡県 8区間 (路肩崩壊2、路面冠水5、倒木1)

佐賀県 4区間 (路面冠水4)

- 長崎県 1 区間（路肩崩壊 1）
- 熊本県 8 区間（土砂崩れ 1、土砂流出 1、路肩崩壊 2、路面冠水 4）
- 大分県 4 区間（土砂流出 1、法面崩落 1、路肩崩壊 2）

(5) 鉄道 (8/13 14:30 時点)

○施設被害

- ・被害情報なし

○運行状況

【現在、運転を見合せている路線 10 事業者 38 路線】

JR 西日本（大糸線、高山線、氷見線、城端線、七尾線、越美北線、小浜線、播但線、姫新線、因美線、伯備線、芸備線、木次線、福塩線、山陽線、呉線、岩徳線、山口線、山陰線、宇部線、小野田線、美祇線）

JR 四国（予讃線、土讃線）

JR 九州（久大線、筑豊線、筑肥線、長崎線、大村線、鹿児島線、三角線）

にしきがわ 錦川鉄道（錦川清流線）

西日本鉄道（甘木線）

ちくほう 平成筑豊鉄道（田川線）

まつうら 松浦鉄道（西九州線）

みなみあそ 南阿蘇鉄道（高森線）

島原鉄道（島原鉄道線）

肥薩おれんじ鉄道（肥薩おれんじ鉄道線）

【今後、運転を見合わせることを発表している路線 5 事業者 11 路線】

J R 東日本（飯山線、大糸線）

J R 東海（高山線）

J R 西日本（東海道線、北陸線、山陰線、舞鶴線、播但線）

WILLER TRAINS（宮福線、宮津線）

ちくほう 平成筑豊鉄道（田川線）

(6) 航空 (8/13 14:30 時点)

○旅客及び従業員等の人的被害なし

○空港施設等に被害なし、各空港通常運用予定

○運航への影響 8月13日 欠航13便（ORC3便、AMX10便）

(7) 海事 (8/13 14:40 時点)

○所管の教育施設1箇所施設の一部が水没

○13事業者13航路において運休または一部運休中

(8) 自動車 (8/13 14:35 時点)

○高速バス

28社66路線運休

7社26路線一部運休

○路線バス

14社19路線運休

3社6路線一部運休

○自動車道 1事業者1路線で全線通行止め（大雨が予想されるため）

○宅配事業者 大手1社において一部地域で集配中止

○トラック 1事業者で施設等の被害あり

(9) 都市

○長崎県 1 公園（法面崩落）、宮崎県 1 公園（法面崩落）

(10) 海岸、港湾、物流、住宅、下水道、官庁施設、観光関係の状況

○被害等情報なし

5 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議（8/12）

(2) ホットライン構築状況

○北陸、中国、四国、九州 317 市町村とホットラインを構築

（新潟 2、富山 1、鳥取 19、島根 19、岡山 27、広島 23、山口 19、徳島 24、香川 17、愛媛 20、高知 34、福岡 31、佐賀 11、長崎 4、熊本 14、大分 10、宮崎 7、鹿児島 35）

(3) TEC-FORCE

○本日 53 名を派遣

- ・リエゾン 23 名（広島 9、福岡 2、佐賀 2、長崎 2、熊本 2、大分 2、宮崎 2、鹿児島 2）
- ・JETT 30 名（秋田 2、新潟 2、石川 3、長野 2、静岡 2、愛知 2、鳥取 2、広島 2、愛媛 2、福岡 2、佐賀 2、長崎 2、熊本 3、大分 2）

(4) 記者会見

○合同記者会見（8/12 九州地方整備局・福岡管区気象台、四国地方整備局・高松地方気象台）
（8/13 水管理・国土保全局・気象庁、中国地方整備局・広島地方気象台）

6 海上保安庁（8/13 13:30 時点）

○対応体制等

1) 体制

・本庁

8 月 13 日午前 08 時 45 分 海上保安庁対策室設置
午前 09 時 50 分 海上保安庁対策本部へ改組

・第六管区海上保安本部（瀬戸内地方）

8 月 13 日午前 08 時 45 分 第六管区大雨に関する災害対策室設置

・第七管区海上保安本部（九州北部地方）

8 月 12 日午前 10 時 58 分 第七管区海上保安本部豪雨災害対策室設置

8 月 13 日午前 09 時 50 分 第七管区海上保安本部豪雨災害対策本部へ改組

・第十管区海上保安本部（九州南部地方）

8 月 11 日午前 05 時 40 分 第十管区海上保安本部情報連絡室設置

8 月 11 日午前 05 時 40 分 第十管区豪雨災害対策室

2) 職員派遣 広島県庁（2 名）、福岡県庁（1 名）、長崎県庁（0 名）

○対応状況

1) 巡視船艇 63 隻、航空機 9 機（固定翼機 4 機、回転翼機 5 機）即応待機中

2) 自治体等関係機関との連絡体制強化

3) 海の安全情報の発出（気象情報、事故防止に係る注意喚起）

○主な被害状況等 現在まで海上における被害情報等認めず。

○その他参考事項 自治体等からの支援要請等なし。

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代表：03-5253-8111 内線35-822
直通：03-5253-8461